



2016年10月のロータリーレートは1ドル=102円

2016年 地区大会は10.22(土) 23(日) 南砺 RC



RI 会長テーマ :

「人類に奉仕するロータリー」 Rotary Serving Humanity

2016-17年度国際ロータリー会長 ジョンF. ジャーム

チャタヌーガ・ロータリークラブ (米国テネシー州)



「語り合おう ロータリー」

RI 第 2610 地区2016-17年度年度ガバナー

岡部一輝 (かずき) (南砺 RC)



例会便り

第 847 回

ホテル日航金沢 5 F

9.29 (木) 19:00

例会出席率 23/46 50.0 %

9月の平均出席率 65.74 %

布施美枝子 S A A

点 鐘

1. ロータリーソング

『 奉仕の理想 』

2. 四つのテスト

3. 若狭豊会長挨拶 先週例会はお休みでしたがパイロットクラブの表彰式に出席したり、後出会員の会社の創立記念式に出席したりということがありました。



世の中は豊洲問題やオリンピック、また富山市議からはじまった政務活動費問題では政活費が議員さんの生活費になっていたということで日本全体に広がるのではないかと見られます。東京オリンピックなどは利権がらみでうわべだけのおもてなしということがないように、私達はそうならないように清らかにいきたいと思えます。

1) ゲストのご紹介

〔卓話演奏者〕垣田 堂 (かきた どう) 様

〔米山奨学生〕黄 懿園 (コウ イエン) さん

2) ビジターのご紹介

小矢部 RC 酒井 安子 (さかい やすこ) 様

職業は書道家ですが最近イベント企画が多く、10月には小矢部で垣田堂さんのコンサートを開く予定で、今日は応援に参りました。

どうぞよろしくお願いたします。

3) 米山奨学生へ奨学金支給

黄 懿園 (コウ イエン) さん：一時中国に帰って両親・友達に会えて良かったと思います。毎日充実した日を過ごしました。少しお土産を持ってきたのでよかったです食べてください。今週火曜日に山中RCに卓話に行きました。大路さんのおかげで無事に終わり感謝します。



《 食 事 》

4. 幹事報告・委員会報告

〔幹事報告〕なし

〔委員会報告〕勝山会員：来週オープンロータリーを開催します。お知り合いやご家族をお誘いいただきたいと思えます。よろしくお願いたします。



5. ニコニコBOX 紹介



若狭豊会長：皆様今晚は。本日卓話ゲスト垣田堂様いらっしゃいます。ギター演奏楽しみにしています。

炭谷亮一会員、岩倉舟伊智会員：垣田様今夜は楽しみにしています。

大路孝之会員：垣田様、ようこそ！素敵な演奏を楽しみにしています。

宮永満祐美会員：垣田さんようこそ。今日はよろしくお願ひいたします。

6. 講話の時間

ギタリスト 垣田 堂 氏

紹介者： 宮永満祐美会員： 芸術の秋にピッタリな卓話の方を紹介します。垣田さんは色々なところで演奏されているのですが、ギターで生計をたてていることをお聞きしました。山の上ギャラリーというアートの所に最近よく行くのですが、そちらで垣田さんにお会いしてお話していたら、「土家」さんにもよく行くとお聞きしご縁があるなあと思い卓話をお願いすることにいたしました。今日は私達に馴染みのある曲や素敵な曲を選んでいただきましたので楽しい時間になるのではと思っています。



1978年、アメリカ・ニュージャージー州生。金沢市在住。14才よりギターを始める。

ニューヨーク、スペイン・バルセロナでの演奏活動を経て、現在は北陸を拠点にする。

美術館、ギャラリー、寺、プラネタリウムでの演奏のほか、舞踊、朗読、ライブペインティングなど、他分野のアーティストとの共演も行う。



《プログラム》

- ・この道 ～ ちいさい秋みつけた
- ・コーヒールンバ ～ 愛のロマンス (映画「禁じられた遊び」より)
- ～ 与作 (北島 三郎)
- ・上を向いて歩こう ～ 夜空ノムコウ ～ 世界に一つだけの花 (SMAP)
- ・ショーロ～鐘の音 (ブラジル古典) など

7. 質疑応答

8. 謝辞・謝礼

点 鐘

ようこそ南光州RCの皆様 9/30 (金) 19:00より松魚亭





朴天學先生
パッチョナ



李承采先生とご夫人
イスンチェ



崔國信先生
チェックシン



司会の炭谷良一PG



千命倍社長ご夫妻
チョンミョンベ



李承采先生の乾杯



千命倍社長に日本語で挨拶をと



朴天學先生とご夫人



岩倉舟伊智会員に千命倍社長
より金のロータリーバッジを



9月30日に韓国の姉妹クラブ南光州RCのメンバー 朴天学御夫妻、李承采御夫妻、千命培御夫妻、崔国信会員、計7名の方が友好訪問されました。9/30(金)19:00より松魚亭にて懇親会がおこなわれました。

〔村田祐一会員からの報告〕

10月1日昼は炭谷、岩倉さんが京都観光ご案内されて、夜から私と金さん両夫妻が合流しました。

翌日は岩倉さんは帰られ、奈良では大仏と法隆寺、そして大阪観光にご一緒しました。戎橋付近は大混雑していました。商店街の道は人であふれ返りイワシの大群が群れを成すように左と右に分かれて一方通行していました。時々群れから離れるように商店に入る人がいましたが、ほとんどはそぞろ歩きを楽しんでいました。

朴先生、千さん、李弁護士ご夫妻と検事の奥さまが現在アメリカ研修中の弁護士の崔さん達7人と楽しく友好の一時を持たせていただきました。

「崔さんご夫妻、法廷で対決したら」などの質問ではどちらかが同じ法廷に立たないよう配慮するそうです。結婚される前には一度同じ法廷での対決があったとの事です。次回の再会を期してお別れしました。



村田祐一会員提供

パストガバナーからの手紙 278回 2016.10.6 炭谷 亮一

良書探訪「日本人が気付かない世界一素晴らしい国」 著者 ケビン・M・ドーク

本書は40年前に高校2年生の時にロータリーの交換留学生として長野県の上田東ロータリークラブをホストクラブとして一年間滞在し、ロータリアンたちのホスピタリティに感激し著者は「上田での生活は天国のようなもので文句ないものでした。文句どころか、私はアメリカに帰りたくなかった」と述懐している。

日本にもう一度戻りたい一心で日本研究でシカゴ大学で博士号を取得後、フルブライト奨学金を得て25歳で再来日し、東大や立教大学で日本史やナショナリズムを研究、現在はワシントンD. C. のジョージタウン大学で日本の近代思想を中心に、広く近代日本史の教鞭をとっている。

研究テーマとして日本のナショナリズムを取り上げ、日本の場合には、民族的なナショナリズムと国民的ナショナリズムの上に国家主義的な立場があった、従って、日本には少なくとも三つの立場がある。それなのに一方的な解釈で事足りるとするのは、ナショナリズムの分析というより政治的イデオロギーの主張と言うべきものだろうと指摘している。著者は日本のナショナリズムは日本でもドイツでもアメリカでも、流動的かつ近代的な基本思想だと思っている。だから複雑なせめぎあいのなかで形成されている。

著者は考える”nation”に国民と民族の二つの意味があり、その意味合いが違っている。これは社会的現象として重要なところである。明治時代に小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)は日本の法律によって帰化することが出来た。それは日本人が近代的な発想のなかで「日本の国民になっても民族として移ったわけではない」と言う国民主義的な考え方の証拠であると指摘している。

最後に述べているのは日本のナショナリズムが近代化を成功させたという立場も、日本のナショナリズムが敗北したと言う立場を著者はとらない、真中の曖昧なところを進んだと考えている。だからいまでも日本の近代化は終わっていない。国でもそうであり。そこが安倍政権の一番重要なところで、戦後のレジュームをかなぐり捨てて、近代化を完成させようとする政治的な立場をとっていると著者は見ている。

欧米社会と日本社会を比較すると、特に戦前までの「天皇制」と「ローマ教皇」はよく似ていると述べている。戦前までは天皇は神道のトップの位置し、もちろんローマ教皇はカソリックのトップであり、両者はある時期政治の中枢をになっていた。

1932年に上智大学事件がおこった。上智大学の学生が軍隊の訓練で靖国神社参拝を命じられ、これを大学側は拒否して。上智はイエズス会の大学であり、靖国参拝の強制が信教にかかわるかいろいろ論議され、日本の文部省とバチカンのとの間でも話し合いが持たれた。結局足かけ4年の交渉の末、1936年5月バチカンのプロパガンダ・フィーデが「祖国に対するカトリック信者の責務についての訓令を布告した」。その訓令によると「日本のカトリック信者は靖国に参拝すべきだ」とした。つまり「してもいい」ではなく「すべきだ」と書かれていた。その経緯についての詳細は以下である。

当時広島にいたドイツ出身のヨハネ・ロス司教が非常に深く「免罪」を研究したうえで、日本の憲法とバチカンの教義も研究し、「参拝することが適切」だと言う結論に至り、そしてロス司教と上智大学のヘルマン・ホイヴェル総長と話し合い、更にはホイヴェル総長が日本の文部大臣と話し合った結果その中で文部省は「参拝することに宗教的意味は入っていない、愛国忠君ということだけに意味がある」ということで「参拝すべき」との合意に達した。プロパガンダ・フィーデが教皇の権威の下で出した布告は正式のものであり、日本のカトリック教徒に留まらず、全世界のカトリック教徒に義務づけられている。1932年の布告は戦前のものでけれども、戦後宗教法で神道が一般宗教に定義された以後1951年（昭和26年）にもバチカンは「祖国に対するカトリック信者の責務について訓令」を再布告した。

したがって現在も有効性があるが、残念ながらいま、日本にいる司教たちのほとんどはこれを無視している。

現代社会は愛国忠君に対して否定的になっている時代の変化があるとしても、それはよくないローマ教皇は司教の上に位置する。当然、司教は教皇に服従する義務がある。だから著者は日本人ではないけれどカソリック教徒であるが由日本に来たときは教皇の訓令に従って靖国神社に参拝している。

ここで著者はかなり意識していかなる宗教の人であろうと靖国神社に参拝することはまったく問題ないとしている。

日本で少数派であるがカソリック教徒の人たちは弱い立場にあるから敏感に反応するはずだけれども、全然問題ないと述べている。したがって憲法の保障する宗教の自由と言う権利を蹂躪されていなければ、靖国神社を参拝することにどうして異議があるのかと彼は主張している。他の宗教の信徒たちはどう言う言い訳をするだろうかと、かなり批判的な言い方をしている。著者は上記以外に「日本の長所と弱点」についてそして又現在のアメリカ情勢についても記述している。

さて米語と日本語のバイリンガルな著者はロータリー財団の高校生の交換留学生として1年間日本に滞在、日本文化に触れ興味を持ち「日本近代思想史」をジョージタウン大学教授として教べんをとり、彼の55年の人生の中で数回（通算10年位）日本にしかも家族で滞在する超親日家である。

上記の様すぐれた学者を輩出したことはロータリー親善交換留学制度の貴重な成果であると言える。ケビン・M・ドーク教授の今後増々の活躍を期待したい。

2016年2月22日初出 ワックK. K 900円
ケビン・M・ドーク ジョージタウン大学教授 1960年アメリカ生まれ
他著書「大声で歌え君が代を」

富山西ロータリークラブとの合同例会について 幹事 武藤清秀 友好担当 岩倉舟伊智

日時：2016年10月20日（木）19時より

場所：辻家庭園 金沢市寺町1-8-48 TEL076-201-1124 金茶寮となり

会費：7,000円 ※例会当日に集めさせていただきます。

その他：お酒のご用意がありますので、飲酒される方は自家用車でのお越しをご遠慮ください。また駐車場台数に限りがあるため、念のため交通手段をお知らせください。10/11(火)迄に事務局へ



木槿



山椒の実

クラブ例会予定

10/6 オープンロータリー ホテル日航5F
 10/13 卓話：坂岡雅志様
 10/20 富山西 RC との合同例会「辻家庭園」
 10/22～23 2610 地区大会:砺波市
 2017.1/26 石田寛人 元チェコスロバキア大使

2016～17 役員・理事・委員会

(役員) 会長：若狭豊 エルト：上杉輝子 副会長：藤間勘菊 宮永満祐美 幹事：武藤清秀 副幹事：大路孝之
 会計：西村邦雄 SAA会場監督：布施美枝子 直前会長：魏賢任

(理事) クラブ管理運営委員長 東海林也令子 奉仕プロジェクト委員長 川きみよ
 会員組織委員長 金沂秀 広報委員長 矢来正和

常任理事：石丸幹夫 吉田昭生 木場紀子

理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガバナー 炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智

(委員会)

クラブ管理運営委員長：東海林也令子 副：井口千夏

親睦：◎井上正雄 大沼俊昭 勝山達郎 北山吉明 相良光貞 竹田敬一郎 道端勝太 村上咏実子 森眞一郎
 山崎正美

例会：(プログラム/出席) ◎井口千夏 上田喜之 辰巳クミ 水野陽子

SAA：◎布施美枝子 井上正雄 上田喜之

ニコニコ：◎表 靖子 井上正雄 矢来正和

友好・クラブ細則：細則 CLP 検討 ◎江守 巧 炭谷亮一 後出博敏

富山西 RC との交流 ◎岩倉舟伊智 木場紀子 谷伊津子 野城 勲

金沢北 RC との交流 ◎藤間勘菊 杵屋喜三以満 二木秀樹

その他友好クラブ ◎石丸幹夫 大路孝之 魏 賢任 藤間勘菊 宮永満祐美 村田祐一

直前委員長：東海林也令子

奉仕プロジェクト委員長：川きみよ 副：大路孝之

職業：◎村田祐一 永原源二郎 二木秀樹

社会(新世代・青少年を含む)：◎永原源二郎 辰巳クミ 谷伊津子 野村礼子 水野陽子

国際：

世界社会奉仕(R財団)ラオス支援 ◎炭谷亮一 岩倉舟伊智 大路孝之 勝山達郎 金 沂秀 西村邦雄

描き損じハガキ ◎江守道子 大沼俊昭 相良光貞 竹田敬一郎 野城勲 後出博敏 山崎正美

米山奨学会 ◎藤間勘菊 上杉輝子 大路孝之 土田初子

青少年奉仕 国際青少年交換(日韓など) ◎大路孝之 上杉輝子 江守 巧 高田重男 宮永満祐美 吉田昭生

直前委員長：水野 陽子

会員組織委員長：金 沂秀 副：魏 賢任

会員増強：◎魏 賢任 井口千夏 北山吉明 高田重男

修練(リエンション) ◎北山吉明 杵屋喜三以満 木場紀子 吉田昭生

直前委員長 金沂秀

広報委員会委員長：矢来正和 副：表 靖子

広報：◎上杉輝子 西村邦雄 矢来正和

ロータリー情報：◎表 靖子 土田初子 布施美枝子

会報・ホームページ：◎石丸幹夫 上田喜之 江守道子 野村礼子

直前委員長 藤間勘菊

長期姉妹クラブ担当 韓国南光州：金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 藤間

京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

(地区委員) 【会員拡大増強委員会】 委員 魏賢任 【広報委員会】 委員 藤間勘菊 【ロータリー財団委員会】

カウンセラー 炭谷亮一 【ロータリー米山寄付推進担当】 委員 大路孝之 【危機管理委員会】 医師 石丸幹夫

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://100rc.jp/

事務局執務時間 月火水金 9:00～15:00 休憩時間 12:00～13:00 木 15:00～20:00 休日(土日祝日)

事務局員 西村有里 幹事 武藤清秀